

今こそ知りたい！ 郷土の武将 畠山重忠公

深谷市出身の武将『畠山重忠』が、現在放送中の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』（NHK）でも重要な役柄で登場し、注目されています。全国的に注目されている今、郷土の歴史に目を向けてみませんか？

重忠の生涯

畠山に生まれる

時は平安時代。平安の鎌倉時代に活躍し『武蔵武士の鑑』と今に語り継がれる『畠山重忠』が、現在の深谷市畠山に誕生しました。重忠は、平安時代に武蔵国（現在の東京都・埼玉県周辺）で大きな力を持った武士団である『秩父氏』にルーツを持つと言われていいます。父の重能が現在の深谷市畠山に本領を持ったことから、『畠山』を名乗るようになりました。

源頼朝に仕える

重忠が17歳のころ、畠山氏は平氏に仕えていましたが、源頼朝が兵力を増す中で、重忠は頼朝につくことを決めました。頼朝が作った鎌倉幕府は、重忠などの多くの武士に支えられていたのです。頼朝は重忠の堂々とした態度に感心し、名譽ある先陣を任せるなど重用しました。また、重忠は京都に住んだこと

二俣川で討たれる

頼朝の死後、鎌倉幕府では北条時政が絶大な権力を握り、権力争いが激しくなります。その矛先は重忠にも向けられることとなり、時政は重忠の討伐を命じました。重忠は、『鎌倉で事件あり』という知らせを聞き鎌倉へ向かう途中の二俣川（現在の神奈川県横浜市）で、それが自分を討伐するための作戦であることを知り、しかし重忠は、わずかな軍のまま戦うことを決め、激闘の末、矢に当たり42年の生涯を終えました。

後世に語り継がれる

鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』の中には、一の谷の戦いで行われた『鴨越の逆落とし』で愛馬『三日月』を背負って坂を下ったという、重忠の力持ちで心優しい人物像が描かれています。他にも、『平家物語』や『源平盛衰記』などの軍記物、江戸時代の歌舞伎や浄瑠璃などにも多く描

かれ、全国的にも多くの伝説が残るなど、重忠に対する人々の誇りや憧れがうかがえます。

畠山重忠関係略年表

年齢	年号（西暦）・できごと
1歳	長寛2年（1164年）重忠、畠山館で生まれる。
17歳	治承4年（1180年）源頼朝、伊豆で挙兵。重忠、頼朝に従う。先陣を務める。
21歳	元暦元年（1184年）重忠、宇治川の戦い、一の谷の戦い（鴨越の逆落とし）に参加。
26歳	文治5年（1189年）奥州合戦開始。重忠、先陣を務める。
36歳	正治元年（1199年）頼朝、死去。
42歳	元久2年（1205年）重忠、二俣川で討たれる。



▲重忠の旗印『小紋の村濃』

『重忠公』を顕彰する

深谷の人々

畠山重忠公顕彰会

『畠山重忠公史跡保存会』、『重忠太鼓保存会』、『重忠節踊り同好会』が令和元年に統合し設立されました。

畠山地域を中心に顕彰の歴史は長く、活動には90年以上の歴史があります。4月の『重忠まつり』、7月の『重忠公慰霊祭』と『献花式』などを実施しています。



▲『重忠まつり』の様子（平成31年4月）

川本南小学校



▲校内にある重忠公の紹介コーナー。重忠公の生い立ちや系図などが展示されています。



▲令和3年3月に当時3年生が授業で考えた『畠山重忠×ふっちゃんコラボデザイン』

川本南小学校は、重忠公の出身地『畠山』の地元小学校です。ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを創る児童の育成を目的に、『畠山重忠公のふるさと川本から学ぼうプロジェクト』として、さまざまな取り組みをしています。



鎌倉殿の13人

THE 13 LORDS OF THE SHOGUN

NHK 総合 日曜日午後8時
BS4K | BSP 日曜日午後6時
NHK プラス 1週間見逃し配信



現在放送中の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』（NHK）では、俳優・中川大志さんが畠山重忠を演じています。
【役柄】主人公・北条義時と同年代の武蔵の武者であり、謹厳実直な人柄で、義時とは互いの力を認め合う仲。知勇兼備で武士の鑑といわれる。



©深谷市

▲深谷市公式キャラクター『重忠様』

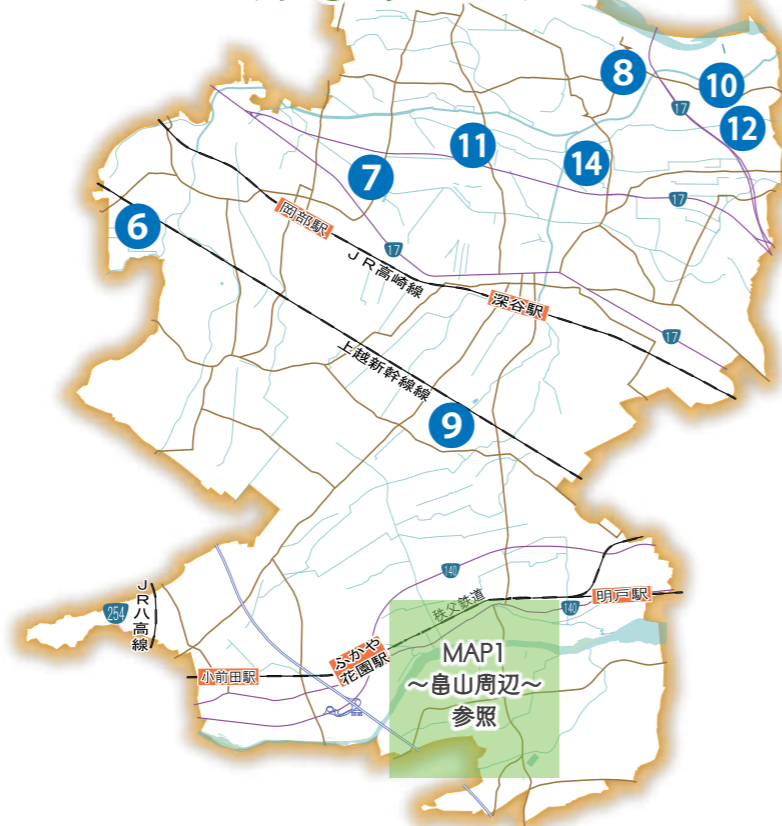
友好都市 岩手県田野畑村

田野畑村には畠山一族の武士が移り住んだとされ、重忠に関する伝説もある縁から、旧川本町で民間交流をきっかけに友好町村となり、現在も交流が続いています。

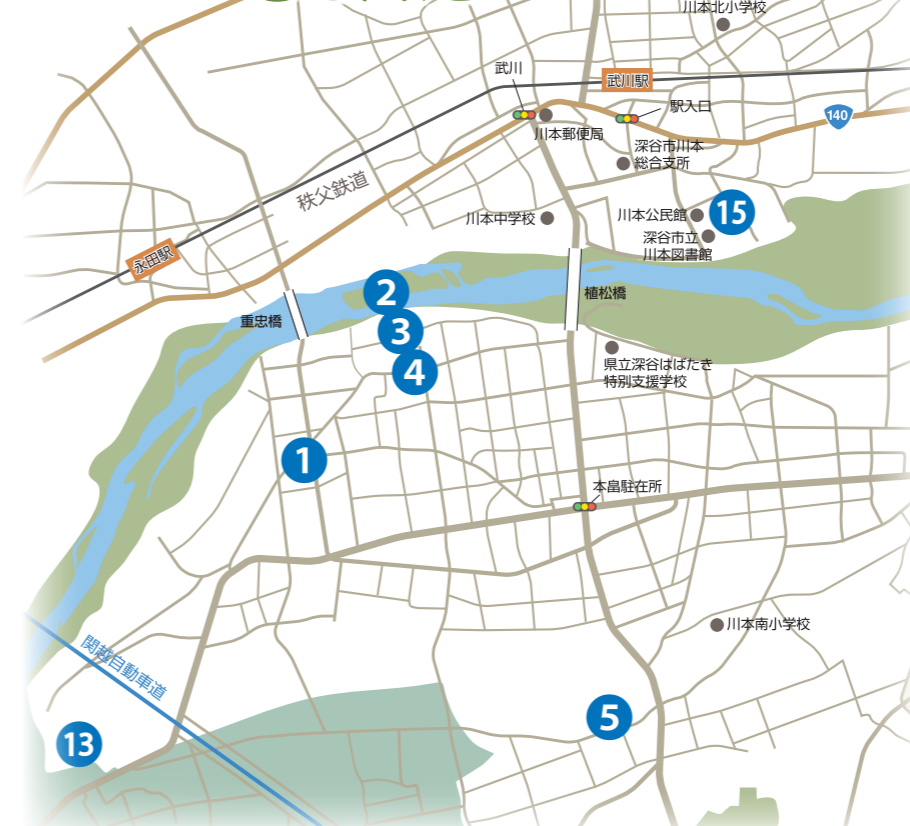


▲田野畑村の景勝地「北山崎」

MAP2 ~深谷市全域~



MAP1 ~畠山周辺~



市内に伝わる 重忠ゆかりの地

重忠の生誕地である深谷市には、重忠やその部下、同じ時代を生きた武士たちの史跡が多く残っています。鎌倉時代に思いをはせながら、新たな視点で市内を巡ってみませんか？

▼深谷市公式キャラクター『しげただくん』



重忠様とツイッターをやっているから、みんなにフォローして欲しいただあ〜!!

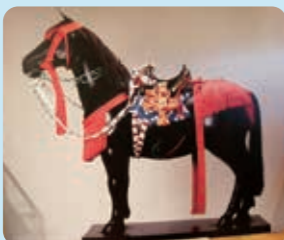


▲ツイッター

もっと知りたいかたに！ オススメ情報

企画展『武蔵武士の鑑 畠山重忠』

重忠墓の出土遺物や、鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』、重忠を描いた錦絵、重忠の愛馬の実寸大を再現したパネル(右写真)などを展示中です。



とき 令和5年1月31日(火)までの午前9時～午後4時30分(臨時休館あり)

ところ 川本出土文化管理センター(MAP1 15)

問い合わせ 文化振興課 (☎ 577 - 4501)

『畠山重忠講演会』動画配信中！

1月30日に無観客で行った講演会を無料で視聴できます。市ホームページからご覧ください。



▲ホームページ

時代を担った北武蔵の武士

- 岡部六弥太忠澄【関連史跡】MAP2 7 岡部六弥太忠澄墓
- 新開荒次郎実重【関連史跡】MAP2 8 新開荒次郎実重墓
- 人見四郎【関連史跡】MAP2 9 人見氏累代墓
- 荏原氏【関連史跡】MAP2 10 荏原氏館跡
- 内島氏【関連史跡】MAP2 11 内ヶ島氏館跡
- 蓮沼氏【関連史跡】MAP2 12 蓮沼氏館跡

交通を支えた鎌倉街道

鎌倉街道 上道 MAP1 13

鎌倉時代の主要街道の1つで、鎌倉から越後国(現在の新潟県)へ繋がっており、諸国の武士たちが鎌倉へ集まるために利用されました。

鎌倉街道 上道支道 MAP2 14

鎌倉街道 上道の支道と伝えられています。

畠山重忠公史跡公園 MAP1 1

重忠が誕生したと伝わる『畠山館跡』のあった場所で重忠と家臣の墓といわれる五輪塔や、産湯の井戸などがあります。



また、入り口には鶴越の逆落として愛馬『三日月』を背負っている重忠の銅像があります。

鶯の瀬 MAP1 2

重忠が、榛沢成清の館からの帰りに荒川が増水して渡れず困っていたところ、ウグイスに浅瀬を教えられ、渡ることができたと伝えられています。

井椋神社 MAP1 3

畠山氏の守護神としたと伝わる神社です。

満福寺 MAP1 4 ※29ページの『ふっか散歩』もご覧ください。

重忠が再興し菩提寺としたと伝わるお寺です。

重忠が信頼した二人の武士

本田次郎近常

【関連史跡】MAP1 5 本田城跡

榛沢六郎成清とともに、重忠に特に信頼された側近で、二俣川でも重忠と共に戦い、重忠の死を知って自害しました。

現在深谷市の本田に、本田氏の館と伝わる『本田城跡』が残されています。

榛沢六郎成清

【関連史跡】MAP2 6 榛沢六郎成清の供養塔

重忠とは乳兄弟で、補佐役として重忠に仕えました。重忠は、源頼朝につくべきかを成清に相談して決めるほど、信頼していました。重忠とともに二俣川の戦いにおいて討死し、その遺骨は深谷市後榛沢の榛沢氏館に埋葬したとされています。